

新年が始まりました。今年こそは、穏やかで、人々が希望を持って過ごせる1年でありますようにと願います。

7日の始業式からほどなく実施された大学入学共通テストには、3年生が希望進路の実現を目指して、日頃の学習の成果を発揮するべく、集中して臨みました。その翌日からは、二次試験対策等の補習も行われ、さらなる実力アップを図っています。1・2年生にとっても学年のまとめの3学期、学校での学びや活動がより積極的なものになりますよう、皆さんとともに力を尽くしていければと思います。

今年もチャレンジを続ける充実した1年にしましょう！



3 学期始業式 1月7日

1月7日(火)に、3学期始業式をオンラインで行いました。県民歌斉唱、校歌斉唱に続いて、下村校長が式辞を述べました。最初に新宮城について写真を提示しながらその歴史や魅力を語り、私たちが暮らしているこの新宮には世界遺産に登録されているもののほかにも誇れるものがたくさんあることを伝えました。続いて、令和8年4月に新宮・新翔の両校が統合し、新たな新宮高等学校となることについて、準備の状況を話しました。制服や校章は新たに作っていくこととなりますが、本校の制服は約70年、校章は約80年の歴史をもちます。その幕を閉じることとなりますので、大切に制服を着て、今の校章を忘れずにいてほしいと語りました。また、今日から始まる3学期も、校是である「文武両道」を体現できる生活を期待しています、と述べました。始業式後には、生徒支援部長から3学期を迎えるにあたって、生活面での注意等がありました。

今年もそれぞれの可能性を広げられるよう、ともに頑張っていきましょう。



いざ 大学入学共通テストへ 1月17日~19日



1月15日(水)、大学入学共通テストを受験する60名の3年生が会議室に集まり、事前ASを実施しました。下村校長は、「皆で移動・宿泊して試験に臨むのは大変だが、当日は徒歩で試験会場に行くことができるなどメリットもある。コンディションを整えて、集中して試験に向かってほしい。試験中に分からない問題や思い出せない場面があっても、集中して一所懸命考えてほしい。それがあと1問の正解に繋がっていく。長丁場になるが、集中して全力でやり遂げよう。」と激励しました。1月17日(金)にはバス2台で和歌山市の受験会場に向けて出発しました。

感染症対策等、気を遣うことも多くあったかと思いますが、受験生は全員無事に受験を終えることができ、1月20日(月)午前中に学校で自己採点も済ませました。その後、個別面談を実施し、国公立大学等への出願を行っています。これから国公立大学の二次試験や私立大学の一般選抜等に向けて、体調に留意しながら、さらに学びを深めてください。本番では、これまで学んできたことや身に付けた力を存分に出し切れるよう願っています。

頑張れ新高生！！



オリンピック選手を囲んでの座談会 1月24日

1月24日（金）16時15分から、人工芝にて「オリンピック選手を囲んでの座談会」を実施しました。自衛隊体育学校レスリング部より、湯元進一監督（2012 ロンドンオリンピック銅メダル）、高谷大地選手（2024 パリオリンピック銀メダル）、石黒隼人選手（2024 パリオリンピック7位）が来校され、それぞれ経験談や思いをお話くださるとともに、生徒たちの質問にもこころよく楽しく丁寧に答えてくださいました。時間が経つごとに、和やかで盛り上がった雰囲気となり、貴重な時間を過ごしました。



理科探究発表会 1月16日

1月16日（木）5～7限目に、3年1～3組の理科探究発表会が会議室で行われました。1年間探究してきた内容を発表することで、他者の探究内容を知るとともに、自らの探究活動を振り返る機会となりました。「アボガドの水耕栽培」「海洋ゴミの再利用ーガラスを素材にー」「塩分が植物に与える影響」など、興味深い発表が続きました。



◆◆1月のくまの学彩（1学年）◆◆

ユネスコ講演 1月10日



1月10日（金）7限の1学年「くまの学彩」は、新宮ユネスコ協会より中谷剛会長ならびに勢古啓子氏が来校くださり、「ユネスコ講演」をしていただきました。昨秋日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことに触れながら、ユネスコ憲章とともに辿り、ユネスコの理念と活動について話されました。また、マララ・ユスフザイさんの国連演説での言葉を引きながら、教育の意義についても語られました。さらに、世界遺産・熊野古道についても、映像を提示しながら話してくださいました。生徒たちの真剣な表情が印象に残る講演でした。



「林業の現在と課題」 1月24日

1月24日（金）7限、1年生を対象に「くまの学彩」の授業で、東牟婁振興局林務課の浅野氏、ヤマハ発動機株式会社新事業開発本部経営戦略本部の方々来校され、「林業の現在と課題」と題して講演並びに実演をしてくださいました。実際に武道場内に操縦式のヘリを設置し、エンジンもかけてみてくれました。生徒たちからは「ヘリとドローンの違いは」「操縦する際に心がけていることは」「費用はどれくらいかかるのか」など、多くの質問が出ました。お話全体を通して、キャリアとは人間性を高めていくことでもあること、「林業をスマートに」と取り組む中でいろんな課題が見つかるが、課題を解決しながら一つ一つ進めていることなど、学ぶことがたくさん詰まっていた。

